

平成 2 1 年度一般会計当初予算説明資料

2 款 総務費

2 項 企画費

景観まちづくり課 (内線: 7 3 6 3)

2 目 計画調査費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 次世代が考える景観 まちづくり事業	496	0	496				496	
トータルコスト	2,982千円 (前年度 0千円)							
従事する職員数	正職員: 0. 3 3 人							
主な業務内容	制度設計、研究会委員選任・開催、学習実施、検証							
事業内容の説明								
1 事業概要								
次世代を担う子どもたちを対象に、「総合的な学習」に景観まちづくり学習を取り入れてもらい、自分たちのまち・むらの景観に関心を持ち、考える機会を作ることで、景観に対する意識の向上を図る。								
○景観まちづくり学習の実施								
(1) 景観まちづくり学習研究会により学習の内容・進め方を検討し、学習副読本を作成 (研究会委員 6 人、アドバイザー 1 人、年 3 回開催)								
(2) 県内小学校でモデル的に景観まちづくり学習を実施 (小学校 1 校で実施)								
・学習のテーマと進め方(例)								
【テーマ】自分のまちの「大切な景観」カルタをつくろう								
【進め方】総合的な学習として実施								
手順		内容						
1 オリエンテーション		学習内容・スケジュールの確認、グループ編成						
2 まちに関心を持つ		自分のまちの中で「大切な景観」の場所を事前に調べる						
3 まちを調べる		自分のまちに出て「大切な景観」の写真を撮る						
4 まちを考え、気づく		撮った写真について人気投票をし、人気のあったものの理由を考え、気づく						
5 成果を表現する		人気のあった景観について、その理由と併せてカルタをつくり、学習発表会で発表し、表現する						
(3) 小学校での学習実施の結果から、学習の内容・進め方や副読本を検証								
(4) 多くの小学校で学習を実施してもらうよう働きかけていく								
2 事業費 496 千円								
(内訳)								
・景観まちづくり学習研究会経費 40 千円								
・副読本作成等 456 千円								